



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月12日

上場会社名 株式会社フェローテック 上場取引所 東
 コード番号 6890 URL http://www.ferrotec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 章
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山村 丈 TEL 03-3281-8186
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	51,312	17.3	2,754	71.9	2,744	67.1	1,513	70.8
27年3月期第3四半期	43,738	38.5	1,602	547.0	1,642	267.4	886	58.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 522百万円 (△68.8%) 27年3月期第3四半期 1,671百万円 (△64.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	49.14	49.00
27年3月期第3四半期	28.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	82,373	40,018	47.5	1,271.22
27年3月期	79,410	39,431	48.9	1,260.82

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 39,166百万円 27年3月期 38,846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	11.7	3,400	103.5	3,000	47.7	1,900	—	61.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	30,903,702株	27年3月期	30,903,702株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	93,424株	27年3月期	93,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	30,810,278株	27年3月期3Q	30,810,278株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は緩やかに拡大し、経済指標が概ね好調だったことからFRBは金利上げを決定しました。中国では成長鈍化が鮮明となり、政府要人から、経済全体が抱える過剰設備を整理する旨の発言がありました。これによる中国の生産停滞に加え原油価格の下落により、産油国をふくむ新興国経済の低迷が進むのではないかと懸念があり、世界経済は不透明な状況です。

我が国では、緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、消費者心理の改善は足踏み状態が続いています。為替相場では、やや円安方向に動いたものの、その後1ドル120円付近の小幅な値動きとなりました。

当社グループの属するエレクトロニクス産業におきましては、半導体業界の設備投資に減速感が強まり、一部製品によっては受注減となるなど影響が散見されました。太陽電池産業では、中国・米国に加えアジア・南米・アフリカなど新興国での太陽光発電所の設置が進んでいます。自動車産業では、北米市場での販売台数が最高値を更新するなど高水準で推移いたしました。

このような事業環境のなか、当社グループの装置関連事業につきましては、液晶パネルや有機ELパネルなどの製造装置向けの真空シールと半導体製造工程で使用されるマテリアル製品は、概ね計画のとおり推移しました。太陽電池関連事業におきましては、シリコン製品の採算改善が進んだものの、従前に結晶装置を販売した顧客が経営破綻したため、貸倒引当金を追加計上したほか、材料の価格下落等により在庫評価損が発生いたしました。電子デバイス事業のサーモモジュールにおきましては、自動車温調シート向けが好調のほか、民生用途や通信機器用途なども堅調であり、同製品の自動化増産投資を継続しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は51,312百万円(前年同期比17.3%増)、営業利益は2,754百万円(前年同期比71.9%増)、経常利益は2,744百万円(前年同期比67.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,513百万円(前年同期比70.8%増)となりました。

セグメントにつきましては、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」、「太陽電池関連事業」および「電子デバイス事業」の3区分を報告セグメントとして分類しております。

セグメントの状況は以下のとおりです。

(装置関連事業)

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品、CVD-SiC、シリコンウエーハ加工などです。

石英製品やセラミックス製品とCVD-SiC製品など、半導体製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、スマートフォンやタブレットPCに使用される半導体およびフラッシュメモリーなどの微細化投資が一巡したため、やや需要減となりました。液晶・有機ELパネルの製造装置や搬送ロボットの回転機構に使用する真空シールは、中国での設備投資が増加しており計画のとおり推移しました。スマートフォンなどの通信チップ向けに米国市場で真空蒸着装置の販売が伸長しました。シリコンウエーハ加工は、小口径ウエーハの価格競争が激しくなり、やや弱含みとなりました。

この結果、当該事業の売上高は23,456百万円(前年同期比20.4%増)、営業利益は2,392百万円(前年同期比62.8%増)となりました。

(太陽電池関連事業)

当該事業の主な製品は、シリコン結晶製造装置、シリコン製品、石英坩堝、角槽などです。

太陽電池産業は、世界各国での太陽光発電所計画により堅調なパネル設置量となり、パネル材料のシリコン製品などが拡大しましたが、国内向けの太陽電池パネルの伸びは、発電買取価格の下落により鈍化したため、在庫調整により減少に転じました。結晶製造装置の消耗品である石英坩堝は、一定の需要があるため底堅く推移しました。同装置の過熱部位であるホットゾーンについては、原材料のカーボン材等の在庫に評価損が発生しました。また、シリコン結晶製造装置の販売先である中国企業に経営破綻の懸念があり、従前より貸倒引当金を計上しておりましたが、破産申請を裁判所が受理したため、追加計上いたしました。

この結果、当該事業の売上高は13,449百万円(前年同期比3.8%減)、営業損失は1,571百万円(前年同期は851百万円の営業損失)となりました。

(電子デバイス事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、パワー半導体基板、磁性流体などです。

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、米国市場での自動車販売が高水準に推移し、中国市場の高級車販売も概ね堅調でした。医療検査装置やバイオ関連機器用途、家電分野や通信機器用途も、概ね計画のとおりとなりました。生産量確保のため自動化ラインの増設を行っております。一方、パワー半導体用基板も順調に売上を伸ばしました。磁性流体は、車載スピーカー用途が堅調に推移し、4Kテレビスピーカー用途なども計画のとおりとなりました。

この結果、当該事業の売上高は10,048百万円(前年同期比47.1%増)、営業利益は1,849百万円(前年同期比86.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ2,963百万円増加し、82,373百万円となりました。これは主として、現金及び預金1,076百万円とたな卸資産1,120百万円の増加によるものであります。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ2,376百万円増加し、42,355百万円となりました。これは主として、短期借入金2,268百万円が減少した一方で、支払手形及び買掛金475百万円、その他流動負債1,284百万円、長期借入金1,998百万円が増加したことによるものであります。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ586百万円増加し、40,018百万円となりました。これは主として、利益剰余金1,267百万円の増加と為替換算調整勘定872百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年11月12日に公表の「第2四半期業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,517,647	11,594,566
受取手形及び売掛金	16,971,007	17,220,170
商品及び製品	5,887,154	6,570,545
仕掛品	2,408,382	2,948,414
原材料及び貯蔵品	5,840,708	5,737,745
その他	3,698,406	5,316,151
貸倒引当金	△904,797	△943,738
流動資産合計	44,418,509	48,443,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,287,309	6,772,689
機械装置及び運搬具(純額)	9,995,789	10,120,344
工具、器具及び備品(純額)	6,394,347	6,245,496
土地	638,540	633,341
リース資産(純額)	404,621	713,848
建設仮勘定	3,018,448	2,121,711
有形固定資産合計	27,739,056	26,607,431
無形固定資産		
のれん	530,176	709,178
その他	1,345,420	1,353,644
無形固定資産合計	1,875,596	2,062,822
投資その他の資産		
その他	5,972,131	6,135,399
貸倒引当金	△594,701	△875,574
投資その他の資産合計	5,377,430	5,259,824
固定資産合計	34,992,083	33,930,079
資産合計	79,410,592	82,373,934

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,241,079	13,716,241
短期借入金	8,352,662	6,083,822
1年内返済予定の長期借入金	3,321,300	3,406,460
未払法人税等	283,724	583,372
賞与引当金	954,851	987,914
その他	5,381,934	6,666,510
流動負債合計	31,535,553	31,444,323
固定負債		
長期借入金	5,239,960	7,238,901
退職給付に係る負債	176,339	199,948
役員退職慰労引当金	55,950	32,000
資産除去債務	82,643	94,087
その他	2,888,936	3,346,630
固定負債合計	8,443,828	10,911,568
負債合計	39,979,381	42,355,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,201,346	13,201,346
資本剰余金	13,803,253	13,800,414
利益剰余金	1,368,728	2,636,228
自己株式	△86,355	△86,355
株主資本合計	28,286,972	29,551,633
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200,170	122,583
為替換算調整勘定	10,461,849	9,589,318
退職給付に係る調整累計額	△102,708	△96,902
その他の包括利益累計額合計	10,559,311	9,614,999
新株予約権	8,927	20,458
非支配株主持分	575,998	830,951
純資産合計	39,431,211	40,018,042
負債純資産合計	79,410,592	82,373,934

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	43,738,919	51,312,993
売上原価	33,752,761	38,444,880
売上総利益	9,986,158	12,868,113
販売費及び一般管理費	8,383,565	10,113,117
営業利益	1,602,592	2,754,995
営業外収益		
受取利息	17,821	22,256
持分法による投資利益	105,092	150,243
為替差益	478,908	424,233
その他	181,005	151,042
営業外収益合計	782,828	747,776
営業外費用		
支払利息	420,135	420,157
その他	322,389	338,145
営業外費用合計	742,524	758,303
経常利益	1,642,897	2,744,468
特別利益		
固定資産売却益	9,377	28,743
その他	—	257
特別利益合計	9,377	29,000
特別損失		
固定資産処分損	35,595	53,102
減損損失	38,989	—
その他	8,484	3,722
特別損失合計	83,069	56,825
税金等調整前四半期純利益	1,569,204	2,716,643
法人税等	717,761	1,240,228
四半期純利益	851,443	1,476,415
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,732	△37,567
親会社株主に帰属する四半期純利益	886,175	1,513,982

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	851,443	1,476,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,183	△77,587
為替換算調整勘定	824,143	△861,710
退職給付に係る調整額	5,448	5,806
持分法適用会社に対する持分相当額	10,801	△20,821
その他の包括利益合計	820,209	△954,312
四半期包括利益	1,671,652	522,103
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,691,810	569,670
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,158	△47,566

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客へ の売上高	19,487,099	13,976,347	6,828,899	40,292,346	3,446,573	43,738,919	—	43,738,919
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60,635	—	—	60,635	—	60,635	△60,635	—
計	19,547,735	13,976,347	6,828,899	40,352,981	3,446,573	43,799,555	△60,635	43,738,919
セグメント利益又は 損失(△)	1,469,260	△851,811	990,739	1,608,189	30,126	1,638,315	△35,722	1,602,592

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△35,722千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客へ の売上高	23,456,015	13,449,860	10,048,177	46,954,054	4,358,939	51,312,993	—	51,312,993
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	55,300	—	—	55,300	2,127	57,427	△57,427	—
計	23,511,316	13,449,860	10,048,177	47,009,355	4,361,066	51,370,421	△57,427	51,312,993
セグメント利益又は 損失(△)	2,392,269	△1,571,673	1,849,380	2,669,976	124,227	2,794,203	△39,208	2,754,995

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△39,208千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。